



2019. 7. 1

7月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園
神戸 YMCA ちとせ幼稚園

例年になく梅雨入りが遅くなっています。初夏の爽やかさを感じる一方、吹く風には未だ冷たさがあり、なんとなく不安定な気配が潜んでいます。

お詫びと訂正です。

6月のちとせだよりに「給食費は（中略）2号児は**副食費（おかず代）を月額で利用者が負担**しています」と書いていますが間違いでした。正しくは「2号児は**主食費（お米代）を月額で利用者が負担**」していただいています。お詫びして訂正させていただきます。申し訳ありませんでした。そして10月からは、無償化の一環で2号児は副食費も利用者負担になります。なお、教育保育無償化についての詳細は9月初めにお知らせする予定です。

さてこのたよりは、登園が一段落した後の職員室で書いているのですが、園庭のプールから歓声が聞こえ、テントには陽が眩しく照って、まるで真夏の雰囲気です。急に暑くなると「この時期の暑さで参ってしまうんだから、夏本番にはきっと死んでしまう」と冗談を言いながら、「今年はホンマにあかんかも」と、ちょっと不安になる年齢になってしまいました。

こどもたちはこの夏が、人生で4回目とか6回目とかやな。そりゃ「初めての夏」って言っても構わない位だ…。きっとこの夏、「ほぼ初めての出会い」がいっぱいあるんやろなあ。

自分が幼稚園の時は…

プールは水が冷たすぎて大嫌いやった、誰かがくれたカブトムシは触ると痛くて変なニオイで嬉しくなかった、そういえば首のあせもが痒かった…回想に「天花粉の匂い」が付いてきて、鼻の奥に匂いが蘇ってきました。

ベビーパウダーとかタルカムパウダーですが、私が子どもの頃は「てんかふん」でした。風呂あがり、あせもが出来やすい首回りや脇をパフパフ叩かれて、さらさらして気持ちが良いのですが、独特の匂いがして、叩いてもらう時は息を止めておかないと、うっかり吸い込むと喉がケホケホしました。

この夏、幼稚園では夏期保育、お泊り保育、キャンプがありますし、ご家庭でも色々ご予約があることでしょう。こどもたちはたくさんの「初めて」に出会うのだと思います。そしてそれは、色々な感情と匂いや肌触りと一緒に思い出として心に残ります。その一つ一つが、こどもたちの成長の糧となりますように。

年主題 『ことばに満たされて ～ひびきあう～』

<年主題聖句> 「その人は流れのほとりに植えられた木」（詩編1編3節）

7月主題 『やってみる』

<聖句> 「キリストはわたしたちの平和であります。」（エフェソの信徒への手紙2章14節）